

渋川警察署協議会議事録

(令和6年度第4回定例会議)

開催日時		令和7年2月10日(月) 午後3時30分から午後5時00分までの間	
開催場所		渋川警察署 大会議室	
出席者	委員 (定数12人)	松崎会長 高橋(保)委員 飯塚委員 佐藤委員 高橋(尚)委員 飯島委員 齋藤委員 本多委員 中澤委員	計 9人
	警察	佐藤署長 石田副署長 谷中警務課長 高橋留管課長 杉下会計課長 梶原生活安全課長 萩原地域課長 小林刑事課長 並木交通課長 柳岡警備課長 警務係長	計 11人
	その他		計 人
議 事 の 概 要			
1 挨拶概要 (1) 会長 渋川警察署の皆様には、1年を通してパトロールや事案対応に当たっていただき、感謝を申し上げる。今年度最後の定例会議となるが、皆さんの御協力をいただき、全4回無事に開催することができた。これまで、委員からは多くの意見を出していただいたが、引き続き、住民代表として、住民の安全安心につながるような、意見・質問を出していただきたい。 (2) 署長 令和6年の当署管内の治安情勢については、刑法犯認知件数は3年連続で増加し、交通死亡事故は3件発生したほか、交通事故総量も大幅に増加した。今年に入ってから、刑法犯認知件数は増加傾向にあり、また、交通死亡事故も1件発生するなど、本年も厳しい状況が予想される。地域の皆様との信頼関係のもと、挙署一体となって、「安全・安心を誇れる渋川・北群馬地区の実現」に向けて、山積する課題に取り組んでいく所存であるので、引き続き、御支援、御協力をお願い申し上げます。 2 概況説明事項(説明者 署長) (1) 刑法犯認知状況 (2) 重要犯罪・重要窃盗の認知状況 (3) 主な手口別発生状況 (4) 特殊詐欺認知状況 (5) 防犯活動 (6) 各市町村の犯罪発生状況 (7) 交通事故発生状況 (8) 交通事故抑止活動 (9) 主な事件検挙状況 (10) 110番通報受理内容 (11) 警察安全相談受理内容 (12) その他活動状況 3 意見、要望等(○～委員、●～署長等)			

- 事件事故が起きたとき、防犯カメラの追跡から犯人の早期検挙につながるとニュースで報じていた。警察や自治体が連携して様々な場所に防犯カメラを設置したり、個人宅への助成制度などを設けて設置数を増やすことが必要ではないか。〔意見〕
- 渋川市では自治会等からの申請に対して、24万円を限度に補助対象経費の4分の3の額を交付する制度を設けている。吉岡町及び榛東村には補助金制度はない。参考として、渋川市では2025年度から、個人宅への防犯カメラの設置に対する助成金制度を設ける予定であることから、今後も自治体等関係機関と連携を図りながら設置数を増やしていきたい。〔回答〕
- #9110の普及を進めてみてはどうか。緊急性はないが相談してみたいこと、通報した方が良いのか迷うことなどは、#9110を知っていれば、もっと身近な存在として警察を頼ることができるのではないか。〔意見〕
- 「#9110」は、警察相談窓口専用の短縮ダイヤルで、携帯電話からも利用可能である。全国共通の短縮ダイヤルで、発信地を管轄する各都道府県警察本部の相談窓口につながる。警察署等の電話番号を知らなくても、警察本部の相談窓口につながるので、利便性が高い。今後も、様々な機会を通じて周知を図っていきたい。〔回答〕
- 外国人が関与する窃盗事件に銅線ケーブルを盗むものがあり、県内のスキー場でも被害を受け、営業を縮小していると聞いている。このような犯罪はインフラに影響を及ぼし、住民の生活にも関わるものと心配されるがどのような対策をしているのか。〔質問〕
- 去年は、空き家に対する侵入盗、太陽光発電施設に対する銅線盗の被害が突出して増加し、外国人による犯行も確認されている。
- 検挙の面から、防犯カメラは犯罪捜査に有効であるため、防犯カメラの設置を自治体等に働きかけているほか、個人に対しても、防犯講話等を通じて、防犯カメラやセンサーライトの設置等が有効であると働きかけている。〔回答〕
- JR八木原駅西側の丁字路交差点は、朝と夕方の時間帯に渋滞が発生しており、交通事故が心配される。何か対策はあるか。〔質問〕
- 御指摘の場所は、住宅街であり、かつ、駅が近い立地条件の丁字路交差点であるため、特に朝の通勤や夕方の帰宅時間帯は、歩行者から車のドライバーに至る全ての道路利用者の交通量が増えることから、渋滞が発生すると思われる。交通量が増えれば、交通事故のリスクも高まることから、警察としても何らかの対策ができるか否か検討するため、まずは現地調査をし、必要により、道路管理者やJR等と協議していきたい。〔回答〕
- 高齢の家族を持つ人から、自動車運転免許証を自主返納させたいが、良い方法はあるかという相談を受けた。高齢運転者への指導方法について教えていただきたい。〔質問〕
- 短縮ダイヤル「#8080」では、総合交通センターに所属する専門的な知識を有する職員が安全運転に関する相談を受けており、免許返納に関するアドバイスもしている。
- 認知症であることを認めない方に対しては診断書の提出を求め、提出を拒否した場合は行政処分を科すなどしているので、遠慮せずに相談していただきたい。〔回答〕

4 備考

令和7年度は委員の改選があり、第1回定例会議は6月に開催予定である。